

取締役会の実効性に関する評価結果の概要について

当社は、経営における透明性の確保と社外からの監視機能の強化、市場の変化に即応できる経営体制の確立を柱として、事業の継続的な発展と企業価値の向上を図るため、2015年11月に「コーポレート・ガバナンスに関する基本方針」を制定・公表しております。

【コーポレート・ガバナンスに関する基本方針】 <https://www.meg-snow.com/ir/governance/>

当社では、当該基本方針に基づき、取締役会の実効性を確保し向上させるため、取締役の自己評価に基づく取締役会の評価を2015年度以降毎年実施しております。

今般、2020年度の実効性に関する評価を実施しましたので、その結果の概要をお知らせいたします。

記

1. 実施方法

- (1) 実施時期 2021年2月24日～2021年3月25日
- (2) 対象者 監査等委員である取締役を含む全取締役（社外取締役3名を含む全9名）
- (3) 対象期間 2020年4月～2021年2月までに開催された取締役会
- (4) 評価方法 無記名式アンケートによる自己評価。
※取締役会事務局がアンケートの結果を取りまとめ、取締役会に報告を行い、評価結果について議論しました。
- (5) アンケートの内容

	評価項目	質問内容
①	取締役会の構成	取締役会の構成・人数・社外役員と社内役員の比率・構成員の多様性（専門分野のバランスを含む）
②	取締役会の運営	取締役会の運営状況・資料の質および量・事前検討の十分な時間・議論の充実
③	自己評価	取締役自身の参画姿勢
④	取締役会の役割・責務	取締役会の役割・リスク管理を踏まえた果敢な経営判断・監督・グループ会社のガバナンス・後継者計画
⑤	ステークホルダーとの関係	ステークホルダーおよび非財務情報の視点
⑥	総括	取締役会の機能、議論すべき課題

※アンケートの設問は、評価の継続性の観点から、基本的な質問項目は毎回同じとしておりますが、評価の質を高めるため、質問項目の見直しを都度行っています。

※また、自由記入欄を多く設け、アンケート項目にとらわれず多様な意見や提言を吸い上げられるようにしております。

2. 2020年度取締役会実効性評価結果に係る評価結果の概要

当社取締役会は、自己評価の分析の結果、2020年度における取締役会の実効性は適切に確保されていると判断しました。

また、前年度評価で認識された諸課題についても、以下に記載のとおり改善に向けた継続的な取り組みを行ったことを確認しました。

3. 前年度の取締役会実効性評価において抽出された課題への対応

前年度の評価で抽出された課題に対しては、改善の施策を実施し、その結果の検証を行うことで、継続的にガバナンスの改善を図っています。

(1) 専門分野等を含めた取締役会の構成員の多様性

指名諮問委員会において、取締役会構成員の専門分野を含めた多様性に係る議論を継続して行いました。

(2) 資料の分量の適正化およびさらなる審議活性化に向けた取組み

取締役会資料の早期配付を継続しました。また、社外取締役会議、指名諮問委員会および報酬諮問委員会において、経営に係る活発な議論が行われました。

(3) グループ会社のガバナンスに係る議論の充実

四半期ごとに、グループ会社の業績や主要トピックスに係る取締役会での報告を継続し、また、グループ会社ごとの中期経営計画 2022 計数計画を報告しました。グループ会社に係る重要案件は都度取締役会に報告しました。

(4) 最高経営責任者の後継者計画に係る議論の充実

指名諮問委員会において、最高経営責任者の後継者計画に係る議論を継続的に実施し、その経過を取締役に報告しました。

(5) ステークホルダーや非財務情報の視点をくみとった議論の充実

取締役会における企業倫理委員会の実施内容の報告を継続しました。

CSR重要課題（マテリアリティ）のKPI進捗管理等について、取締役会に報告しました。また、「雪印メグミルクグループ企業行動憲章」の制定を取締役に付議しました。

4. 今後に向けた取組み

今回の評価の結果、取締役会が今後も引き続き取り組んでいくべき主な課題として以下の5点が認識されました。

(1) あるべき取締役会の構成に向けた議論の充実。

(2) さらなる審議の活性化に向けた取組み。

(3) グループ会社のガバナンスに係る議論の充実。

(4) 最高経営責任者の後継者計画に係る議論の充実。

(5) ステークホルダーや非財務情報の視点をくみとった議論の充実。

当社取締役会は、今般の評価結果の分析および議論を通じて認識された課題の解決と、取締役の意見等を踏まえた取締役会運営の見直しを図り、会社の持続的な成長と企業価値の向上を実現していくために、取締役会の実効性の向上に今後とも取り組んでいきます。

以上